

# 東アジアの無形文化財保護制度における 伝統的工芸技術の登録状況 —日本・中国・韓国の国家級一覧表から—

松 山 直 子

無形文化遺産部では、2009年度・2010年度に文部科学省の委託を受け、アジア太平洋地域における無形文化遺産保護活動の調査研究を行った。本報告書第4号、第5号で筆者は、ユネスコの無形文化遺産保護条約の枠組みにおける、アジア太平洋地域の無形文化遺産の分類と伝統的工芸技術の解釈について整理した。本稿では、アジア太平洋地域の中でも、国策として無形文化遺産保護への取り組みを他国に先駆けて開始した日本、中国、韓国の国家を代表する無形文化財としての伝統的工芸技術に部類する案件の登録状況と無形文化財保護制度の概略を紹介する。

アジアの中でも東アジアは、古くから儒教や仏教の思想が各地に広まり、漢字の使用や食文化など、共通する文化をもつ。中国と韓国の無形文化財の登録案件を見ても、当然ながら同じような技術が日本にも存在することが分かる。しかしながら、その登録となるとそれぞれの国の解釈や政策面での縛りがある。筆者はこれまでに何度か中国・韓国を含む他国の登録状況について関係者から質問を受けてきた。こういう質問があるのは、日本の考え方とは異なる保護制度があり、登録の分類や種別、登録案件が比較的紹介されたことがないからであろう。韓国の登録状況については、すでに日本語訳がいくつか世に出ているが<sup>i</sup>、分類がはっきりしなかったり、伝統的工芸技術に関してはその名称が韓国語の直訳で技術内容が不明であったり、中国に関しては日本語の登録一覧は未だに周知されていない。これら東アジア3か国の伝統的工芸技術を軸に、日本語の名称や認定区分、保持者（団体）名、登録年月日などの基礎的な情報を整理することで、こういった疑問に対応したい。

さて、この3か国間の「伝統的工芸技術」の登録区分は大きく異なる。日本は重要無形文化財の指定種別を芸能と工芸技術の2種別とし、工芸技術は陶芸、染織、漆芸、金工、木竹工、人形、手漉和紙に区分<sup>ii</sup>される。中国では、ユネスコの無形文化遺産保護条約で定義する5つの分野に非常に近い分野とその他の無形文化遺産として、6つの分野を無形文化遺産法<sup>iii</sup>で示しつつも、実際の登録状況は、民俗文学、伝統音楽、伝統舞踊、伝統演劇、曲藝、伝統体育、レクリエーション、アクロバット、伝統的芸術、伝統的技能、伝統的医学、民俗に分類されている。韓国では、重要無形文化遺産を芸能種目と技能種目の2分野に分類し、技能種目に工芸技術と飲食が区分され、そして工芸技術として木漆工芸、陶磁工芸、金属工芸、被毛工芸、繊維工芸、石工芸、紙工芸が、飲食として宮廷飲食と民家飲食が分類されている。日本にはない登録区分として、中国と韓国に共通してあるのは伝統的な「技能」として飲食が含まれている点だ。

本稿では国家一覧として国を代表するものを比較的に整理することを目的とし、文化財分類のなかでも、日本の重要無形文化財の工芸技術種別、中国の非物質文化遺産国家名録の伝統的技能の分類、

韓国の重要無形文化財の技能種目を一覧として取り上げた。中国の一覧を見ると、日本の選定保存技術や、記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財の民俗技術に相当するような技術も含まれていると言えるだろうが、本稿では技術を視点に一覧を紹介するものではなく、上記の目的としたことをお断りしておきたい。また、国家の無形文化財として保護制度を設ける上で、その定義と保護の方針を各国の無形文化財保護制度から抜粋し、各国の方針を比較的に理解するために中心となる部分を概略として記した。

日・中・韓の無形文化遺産保護制度の概略と伝統的工芸技術の登録状況から、技術の捉え方の多様さを理解し、国際的に無形文化遺産保護の意識が高まる中で、今後の分類や登録の発展の一助とした。

## 日本

### 【重要無形文化財の定義】

「演劇、音楽、工芸技術その他の無形の文化的所産で我が国にとって歴史上又は芸術上価値の高いもの」<sup>iv</sup>

### 【保護の方針】

「重要無形文化財について自ら記録の作成、伝承者の養成その他その保存のため適当な措置を執ることができる」<sup>v</sup>

「国は、保持者、保持団体又は地方公共団体その他その保存に当たることを適当と認める者に対し、その保存に要する経費の一部を補助することができる。」<sup>vi</sup>

### 【重要無形文化財の分類】

一、芸能（雅楽、能楽、文楽、歌舞伎、組踊、音楽、舞踊、演芸）、二、工芸技術（陶芸、染織、漆芸、金工、木竹工、人形、手漉和紙）

### 【工芸技術の指定状況 <sup>vii</sup>】

種別	名称	認定区分 (団体名、保持者名(雅号))	指定年月日
陶芸	柿右衛門（濁手）	保持団体認定 (柿右衛門製陶技術者会)	1971.4.23
陶芸	色鍋島	保持団体認定 (色鍋島今右衛門技術保存会)	1976.4.30
陶芸	小鹿田焼	保持団体認定 (小鹿田焼技術保存会)	1995.5.31
陶芸	志野	各個認定（鈴木藏）	1994.6.27
陶芸	萩焼	各個認定（三輪節夫（三輪壽雪））	1983.4.13
陶芸	色絵磁器	各個認定 (酒井田柿右衛門（十四代酒井田柿右衛門））	1986.4.28
陶芸	白磁	各個認定（井上萬二）	1995.5.31

陶芸	釉裏金彩	各個認定（吉田稔（吉田美統））	2001.7.12
陶芸	無名異焼	各個認定（伊藤窯一（五代伊藤赤水））	2003.7.10
陶芸	備前焼	各個認定（伊勢崎惇（伊勢崎淳））	2004.9.2
陶芸	鉄釉陶器	各個認定（原清）	2005.8.30
陶芸	青磁	各個認定（中島宏）	2007.6.6
陶芸	瀬戸黒	各個認定（加藤孝造）	2010.7.16
染織	小千谷縮・越後上布	保持団体認定 （越後上布・小千谷縮布技術保存協会）	1955.5.12
染織	結城紬	保持団体認定（本場結城紬技術保持会）	1956.4.24
染織	久留米絰	保持団体認定 （重要無形文化財久留米絰技術保持者会）	1957.4.25
染織	喜如嘉の芭蕉布	保持団体認定（喜如嘉の芭蕉布保存会）	1974.4.20
染織	宮古上布	保持団体認定（宮古上布保持団体）	1978.4.26
染織	伊勢型紙	保持団体認定（伊勢型紙技術保存会）	1993.4.15
染織	久米島紬	保持団体認定（久米島紬保持団体）	2004.9.2
染織	江戸小紋	各個認定（小宮康孝）	1978.4.26
染織	紬織	各個認定（志村ふくみ、佐々木苑子）	1990.4.25
染織	佐賀錦	各個認定（西山フミ（古賀フミ））	1994.6.27
染織	紅型	各個認定（玉那覇有公）	1996.5.10
染織	刺繍	各個認定（福田喜重）	1997.6.6
染織	綴織	各個認定（細見房雄（細見花岳））	1997.6.6
染織	首里の織物	各個認定（宮平初子）	1998.6.8
染織	経錦	各個認定（北村武資）	2000.6.6
染織	芭蕉布	各個認定（平良敏子）	2000.6.6
染織	精好仙台平	各個認定（甲田綏郎）	2002.7.8
染織	献上博多織	各個認定（小川規三郎）	2003.7.10
染織	木版摺更紗	各個認定（鈴田滋人）	2008.9.11
染織	紋紗	各個認定（土屋順紀）	2010.7.16
漆芸	輪島塗	保持団体認定（輪島塗技術保存会）	1997.4.25
漆芸	蒔絵	各個認定（大場勝雄（大場松魚）、室瀬和美）	1955.2.15
漆芸	髹漆	各個認定 （大西勲、小森邦博（小森邦衛）、増村紀一郎）	1974.4.20
漆芸	蒟醬	各個認定（磯井正美、太田儔）	1985.4.13

漆芸	沈金	各個認定（前史雄）	1999.6.21
漆芸	螺鈿	各個認定（北村謙一（北村昭斎））	1999.6.21
金工	日本刀	各個認定（天田誠一（天田昭次））	1955.5.12
金工	刀剣研磨	各個認定（永山茂（永山光幹））	1975.4.23
金工	彫金	各個認定（中川衛、桂剛（桂盛仁））	1978.4.26
金工	鍍金	各個認定（齋藤明、大澤幸勝（大澤光民））	1993.4.15
金工	鍛金	各個認定（奥山喜藏（奥山峰石）、田口壽恒）	1995.5.31
金工	銅鑼	各個認定（魚住安彦）	2002.7.8
木竹工	竹工芸	各個認定（早川修平（五世早川尚古齋）、勝城一二（勝城蒼鳳））	1982.4.20
木竹工	木工芸	各個認定 （川北良造、大坂弘道、中川清司、村山明）	1984.4.9
人形	衣裳人形	各個認定（今井信子（秋山信子））	1986.4.28
人形	桐塑人形	各個認定（林駒夫）	2002.7.8
手漉和紙	石州半紙	保持団体認定（石州半紙技術者会）	1969.4.15
手漉和紙	本美濃紙	保持団体認定（本美濃紙保存会）	1969.4.15
手漉和紙	細川紙	保持団体認定（細川紙技術者協会）	1978.4.26
手漉和紙	越前奉書	各個認定（岩野市兵衛（九代岩野市兵衛））	2000.6.6
手漉和紙	土佐典具帖紙	各個認定（濱田幸雄）	2001.7.12
手漉和紙	名塩雁皮紙	各個認定（谷野武信（谷野剛惟））	2002.7.8

## 中華人民共和国

### 【無形文化財の定義】

「文化財の重要な構成要素であり、わが国の歴史的証拠であり、中華文化の重要な媒介物である。そこには中華民族独自の精神的価値観、考え方、想像力、文化的イデオロギーが秘められ、中華民族の生命力と創造力を体現している」<sup>viii</sup>

### 【保護の方針】

「保護を主体とし、救出を第一とし、合理的な利用を行い、伝承と発展を図る」<sup>ix</sup>

### 【無形文化財の分類】

一．民俗文学、二．伝統音楽、三．伝統舞踊、四．伝統演劇、五．曲藝、六．伝統体育、エンターテインメント、アクロバット、七．伝統的芸術、八．伝統的技能、九．伝統的医学、十．民俗<sup>x</sup>

【非物質文化遺産国家名録—伝統的技能一覧】<sup>xi</sup>

番号	コード	項目名称	申請地域又は団体
351	VIII-1	宜興紫砂陶製作技術	江蘇省宜興市
352	VIII-2	界首彩陶焼成技術	安徽省界首市
353	VIII-3	石湾陶塑技術	広東省佛山市
354	VIII-4	リー族原始製陶技術	海南省昌江リー族自治県
355	VIII-5	タイ族慢輪製陶技術	雲南省シーサンパンナ・タイ族自治州
356	VIII-6	ウイグル族モールド法土陶焼成技術	新疆ウイグル自治区イェンギサル県、カシュガル市、トルファン地区
357	VIII-7	景德鎮手製磁器製造技術	江西省景德鎮市
358	VIII-8	耀州窯陶磁焼成技術	陝西省銅川市
359	VIII-9	竜泉青磁焼成技術	浙江省竜泉市
360	VIII-10	磁州窯焼成技術	河北省峰峰鉍区
361	VIII-11	徳化磁焼成技術	福建省徳化県
362	VIII-12	澄城堯頭陶磁焼成技術	陝西省澄城県
363	VIII-13	南京雲錦・木製織機による手織り技術	江蘇省南京市
364	VIII-14	宋錦織り技術	江蘇省蘇州市
365	VIII-15	蘇州つづれ織り技術	江蘇省蘇州市
366	VIII-16	蜀錦織り技術	四川省成都市
367	VIII-17	烏泥涇・手製綿糸紡績技術	上海市徐匯区
368	VIII-18	トウチャ族錦織り技術	湖南省湘西トウチャ族ミャオ族自治州
369	VIII-19	リー族伝統紡ぎ・染め・織り・刺繍技術	海南省五指山市、白沙リー族自治県、保亭リー族ミャオ族自治県、樂東リー族自治県、東方市
370	VIII-20	チワン族錦織り技術	広西チワン族自治区靖西県
371	VIII-21	チベット族バンデン・マット織り技術	チベット自治区山南地区、シガツェ地区
372	VIII-22	加牙チベット族絨毯織り技術	青海省湟中県
373	VIII-23	ウイグル族花絨毯、印花布織染技術	新疆ウイグル自治区トルファン地区
374	VIII-24	南通藍印花布捺染技術	江蘇省南通市
375	VIII-25	族ろうけつ染め技術	貴州省丹寨県
376	VIII-26	ペー族紋り染め技術	雲南省大理市
377	VIII-27	香山幫伝統建築建設技術	江蘇省蘇州市

378	VIII-28	客家土樓建設技術	福建省龍岩市
379	VIII-29	景德鎮伝統磁器窯工房建設技術	江西省
380	VIII-30	トン族木造建築建設技術	広西チワン族自治区柳州市、三江トン族自治県
381	VIII-31	苗寨吊脚楼建設技術	貴州省雷山県
382	VIII-32	蘇州御窯金磚製作技術	江蘇省蘇州市
383	VIII-33	ミャオ族芦笙製作技術	貴州省雷山県 雲南省大関県
384	VIII-34	玉屏簫笛製作技術	貴州省玉屏トン族自治県
385	VIII-35	陽城鑄鉄鑄造技術	山西省陽城県
386	VIII-36	南京金箔鍛造技術	江蘇省南京市
387	VIII-37	竜泉宝剑鍛造技術	浙江省竜泉市
388	VIII-38	張小泉剪刀鍛造技術	浙江省杭州市
389	VIII-39	蕪湖鉄画鍛造技術	安徽省蕪湖市
390	VIII-40	ミャオ族銀製装飾品鍛造技術	貴州省雷山県 湖南省鳳凰県
391	VIII-41	アチャン族刀剣鍛造技術	雲南省隴川県
392	VIII-42	パウナン族腰刀鍛造技術	甘肅省積石山パウナン族ドンシャン族サ ラール族自治県
393	VIII-43	景泰藍製作技術	北京市崇文区
394	VIII-44	聚元号弓箭製作技術	北京市朝陽区
395	VIII-45	明式家具製作技術	江蘇省蘇州市
396	VIII-46	モンゴル族勒勒車製作技術	内モンゴル自治区東ウジムチン旗
397	VIII-47	ラサ甲米水水車小屋製作技術	チベット自治区
398	VIII-48	蘭州黄河大水車製作技術	甘肅省蘭州市
399	VIII-49	万安羅盤製作技術	安徽省休寧県
400	VIII-50	堆朱技術	北京市崇文区
401	VIII-51	平遥推光漆器髹漆技術	山西省平遥県
402	VIII-52	揚州漆器髹漆技術	江蘇省揚州市
403	VIII-53	天台山幹漆造技術	浙江省天台県
404	VIII-54	福州脱胎漆器髹漆技術	福建省福州市
405	VIII-55	アモイ漆線彫技術	福建省アモイ市
406	VIII-56	成都漆芸	四川省成都市
407	VIII-57	茅台酒釀造技術	貴州省



408	VIII-58	瀘州老窖酒釀造技術	四川省瀘州市
409	VIII-59	杏花村汾酒釀造技術	山西省汾陽市
410	VIII-60	紹興黄酒釀造技術	浙江省紹興市
411	VIII-61	清徐老陳酢釀造技術	山西省清徐県
412	VIII-62	鎮江恒順香酢釀造技術	江蘇省鎮江市
413	VIII-63	武夷岩茶（大紅袍）製作技術	福建省武夷山市
414	VIII-64	自貢井塩・深井戸掘削・地下水くみ上げ乾燥製塩技術	四川省自貢市、大英県
415	VIII-65	宣紙製作技術	安徽省涇県
416	VIII-66	鉛山連四紙製作技術	江西省鉛山県
417	VIII-67	皮紙製作技術	貴州省貴陽市、貞豊県、丹寨県
418	VIII-68	タイ族、ナシ族手製紙技術	雲南省臨滄市、シャングリラ県
419	VIII-69	チベット族製紙技術	チベット自治区
420	VIII-70	ウイグル族桑皮紙製作技術	新疆ウイグル自治区トルファン地区
421	VIII-71	竹紙製作技術	四川省夾江県 浙江省富陽市
422	VIII-72	湖筆製作技術	浙江省湖州市
423	VIII-73	徽墨製作技術	安徽省績溪県、歙県、黄山市屯溪区
424	VIII-74	歙硯製作技術	安徽省歙県 江西省婺源県
425	VIII-75	端硯製作技術	広東省肇慶市
426	VIII-76	金星硯製作技術	江西省星子県
427	VIII-77	木版画印刷技術	北京市荣宝齋
428	VIII-78	彫版印刷技術	江蘇省揚州市
429	VIII-79	金陵刻經印刷技術	江蘇省南京市
430	VIII-80	徳格印経院チベット族彫版印刷技術	四川省徳格県
431	VIII-81	扇製作技術	江蘇省蘇州市
432	VIII-82	舞台衣装・小道具製作技術	江蘇省蘇州市
433	VIII-83	樺樹皮製作技術	内モンゴル自治区オロチョン自治旗、黒竜江省
434	VIII-84	リー族樹皮布製作技術	海南省保亭リー族ミャオ族自治県
435	VIII-85	ホジェン族魚皮製作技術	黒竜江省
436	VIII-86	瀏陽花火製作技術	湖南省瀏陽市
437	VIII-87	リー族きりもみ式火起こし技術	海南省保亭リー族ミャオ族自治県

438	VIII-88	夔製作技術（濰坊夔、南通板鶴夔、 ラサ夔）	山東省濰坊市 江蘇省南通市 チベット自治区ラサ市
439	VIII-89	涼茶	広東省文化庁 香港特別行政区民政事務局 マカオ特別行政区文化局
873	VIII-90	琉璃焼成技術	北京市門頭溝区 山西省
874	VIII-91	臨清貢磚焼成技術	山東省臨清市
875	VIII-92	定窯磁器焼成技術	河北省曲陽県
876	VIII-93	鈞窯磁器焼成技術	河南省禹州市
877	VIII-94	唐三彩焼成技術	河南省洛陽市
878	VIII-95	醴陵釉下五彩磁器焼成技術	湖南省醴陵市
879	VIII-96	楓溪陶磁器焼成技術	広東省潮州市楓溪区
880	VIII-97	広州織金彩陶磁焼成技術	広東省広州市
881	VIII-98	陶器焼成技術 <sup>xii</sup>	広西チワン族自治区欽州市 四川省稻城県 雲南省迪慶チベット族自治州 青海省囊謙県 貴州省平塘県 雲南省建水県 四川省榮經県
882	VIII-99	蚕糸織り技術 <sup>xiii</sup>	浙江省杭州市余杭区、杭州市福興シルク工場、湖州市
883	VIII-100	伝統綿紡織技術	河北省魏県、肥郷県、新疆ウイグル自治区伽師県
884	VIII-101	毛織物製作及び梳毛技術 <sup>xiv</sup>	四川省昭覚県、色達県 甘肅省ドンシャン族自治州
885	VIII-102	夏布織り技術	江西省万載県 重慶市栄昌県
886	VIII-103	魯錦織り技術	山東省鄆城県、嘉祥県
887	VIII-104	トン族錦織り技術	湖南省通道トン族自治県
888	VIII-105	ミャオ族錦織り技術	貴州省麻江県、雷山県
889	VIII-106	タイ族錦織り技術	雲南省シーサンパンナ・タイ族自治州
890	VIII-107	香雲紗染色・仕上げ技術	広東省佛山市順徳区
891	VIII-108	楓香捺染技術	貴州省恵水県、麻江県
892	VIII-109	新疆ウイグル族艾德莱斯シルク織染技術	新疆ウイグル自治区ロプ県



893	VIII-110	絨毯織り技術 <sup>xv</sup>	北京市 内モンゴル自治区アラシャン左旗
894	VIII-111	灘羊皮なめし技術	山西省交城県
895	VIII-112	オロチョン族ノロ皮製作技術	内モンゴル自治区オロチョン自治旗、黒竜江省黒河市愛輝区
896	VIII-113	盛錫福の皮帽子製作技術	北京市東城区
897	VIII-114	ウイグル族アストラカンラムスキン帽子製作技術	新疆ウイグル自治区シャヤール県
898	VIII-115	内聯昇の千層底布靴製作技術	北京市
899	VIII-116	石鼎冶金技術	山東省招遠市
900	VIII-117	金銀細工製作技術	上海市黄浦区 江蘇省南京市、江都市
901	VIII-118	斑銅製作技術	雲南省曲靖市
902	VIII-119	銅彫刻技術	浙江省杭州市
903	VIII-120	チベット族金属鍛造技術 <sup>xvi</sup>	チベット自治区南木林県 四川省白玉県 チベット自治区ラツェ県 青海省玉樹チベット族自治州
904	VIII-121	成都銀線細工製作技術	四川省成都市青羊区
905	VIII-122	ウイグル族伝統小刀製作技術	新疆ウイグル自治区イェンギサル県
906	VIII-123	モンゴル族馬具製作技術	内モンゴル自治区ホルチン左翼後旗
907	VIII-124	民族楽器製作技術 <sup>xvii</sup>	山西省長子県 吉林省延辺朝鮮族自治州 江蘇省蘇州市 福建省漳州市 新疆ウイグル自治区疏附県、新和県
908	VIII-125	銀線細工・象嵌製作技術	北京市通州区 河北省大廠回族自治県
909	VIII-126	金漆象嵌・髹漆技術	北京市
910	VIII-127	漆器髹漆技術 <sup>xviii</sup>	安徽省黄山市屯溪区 重慶市
911	VIII-128	イ族漆器髹漆技術	四川省喜徳県 貴州省大方県
912	VIII-129	紙箋加工技術	安徽省巢湖市
913	VIII-130	宣筆製作技術	安徽省宣城市
914	VIII-131	楮紙製作技術	陝西省西安市長安区
915	VIII-132	白沙茅龍筆製作技術	広東省江門市

916	VIII-133	硯台製作技術 <sup>xix</sup>	河北省易県 山西省新絳県 甘肅省卓尼県、岷県
917	VIII-134	印肉製作技術 <sup>xx</sup>	上海市静安区 福建省漳州市
918	VIII-135	木活字印刷技術	浙江省瑞安市
919	VIII-136	表装修復技術 <sup>xxi</sup>	北京市栄宝齋 故宮博物院 国家図書館 中国書店
920	VIII-137	伝統木船建造技術	江蘇省興化市 浙江省舟山市普陀区
921	VIII-138	水密隔艙福船建造技術	福建省晋江市、寧徳市蕉城区
922	VIII-139	竜舟建造技術	広東省東莞市
923	VIII-140	傘製作技術 <sup>xxii</sup>	四川省瀘州市江陽区 浙江省杭州市
924	VIII-141	蔵香製作技術	チベット自治区尼木県、メルド・グンカル 県
925	VIII-142	貝葉経製作技術	雲南省シーサンパンナ・タイ族自治州
926	VIII-143	塩性植物焼成塩類採取技術	新疆生産建設兵団
927	VIII-144	蒸留酒伝統醸造技術 <sup>xxiii</sup>	北京紅星股份有限公司、北京順鑫農業股份有限公司 河北省衡水市、平泉県、承德県 山西省朔州市 遼寧省瀋陽市 吉林省通化県 河南省宝豊県 四川省宜賓市、成都市、綿竹市、古蔺県、 射洪県
928	VIII-145	醸造酒伝統醸造技術 <sup>xxiv</sup>	江蘇省丹陽市、金壇市 浙江省金華市
929	VIII-146	リキュール伝統醸造技術 <sup>xxv</sup>	北京仁和酒業有限責任公司
930	VIII-147	花茶製作技術 <sup>xxvi</sup>	北京張一元茶業有限責任公司
931	VIII-148	緑茶製作技術 <sup>xxvii</sup>	浙江省杭州市、金華市 安徽省黄山市徽州区、黄山区、六安市裕安 区
932	VIII-149	紅茶製作技術 <sup>xxviii</sup>	安徽省祁門県
933	VIII-150	ウーロン茶製作技術 <sup>xxix</sup>	福建省安溪県
934	VIII-151	プーアル茶製作技術 <sup>xxx</sup>	雲南省寧洱県、勐海県

935	VIII-152	黒茶製作技術 <sup>xxxix</sup>	湖南省安化県、益陽市 四川省雅安市
936	VIII-153	塩蒸発採取技術 <sup>xxxix</sup>	浙江省象山県 海南省儋州市 チベット自治区マルカム県
937	VIII-154	醤油醸造技術 <sup>xxxix</sup>	上海市浦東新区
938	VIII-155	豆板醤伝統製作技術 <sup>xxxix</sup>	四川省郫県
939	VIII-156	豆豉醸造技術 <sup>xxxix</sup>	重慶市 四川省三台県
940	VIII-157	腐乳醸造技術 <sup>xxxix</sup>	北京市海淀区
941	VIII-158	醬菜製作技術 <sup>xxxix</sup>	北京六必居食品有限公司
942	VIII-159	ザーサイ伝統製作技術 <sup>xxxix</sup>	重慶市涪陵区
943	VIII-160	伝統小麦粉製食品製作技術 <sup>xxxix</sup>	山西省全晋会館、晋韻楼
944	VIII-161	茶菓子製作技術 <sup>xl</sup>	江蘇省揚州市
945	VIII-162	周村焼餅製作技術	山東省淄博市
946	VIII-163	月餅伝統製作技術 <sup>xli</sup>	山西省太原市 広東省安琪食品有限公司
947	VIII-164	素食製作技術 <sup>xlii</sup>	上海功德林素食有限公司
948	VIII-165	同盛祥牛羊肉パオモー製作技術	陝西省西安市
949	VIII-166	ハム製作技術 <sup>xliii</sup>	浙江省金華市
950	VIII-167	ローストダック技術 <sup>xliiv</sup>	北京市全聚德（集団）股份有限公司、北京 便宜坊烤鴨集团有限公司
951	VIII-168	牛羊肉調理技術 <sup>xliiv</sup>	北京市東来順集団有限責任公司、北京市鴻 賓楼餐飲有限責任公司、北京月盛齋清真食 品有限公司、北京市聚德華天控股有限公司、 山西省冠雲平遥牛肉集团有限公司、内モン ゴル自治区アラシャン盟
952	VIII-169	天福号の豚すね肉の醤油漬け製作技 術	北京天福号食品有限公司
953	VIII-170	六味齋の豚肉の醤油煮伝統製作技術	山西省太原六味齋実業有限公司
954	VIII-171	都一处のシューマイ製作技術	北京便宜坊烤鴨集团有限公司
955	VIII-172	聚春園の佛跳牆製作技術	福建省福州市
956	VIII-173	真不同の洛陽水席製作技術	河南省洛陽市
957	VIII-174	官式古代建築建設技術（北京故宮）	故宮博物院
958	VIII-175	木拱橋伝統建設技術	浙江省慶元県、泰順県 福建省壽寧県、屏南県

959	VIII-176	石橋建設技術	浙江省紹興市
960	VIII-177	婺州伝統民家建設技術 <sup>xlvi</sup>	浙江省蘭溪市、武義県、東陽市、浦江県
961	VIII-178	徽派伝統民家建設技術	安徽省黄山市
962	VIII-179	閩南伝統民家建設技術	福建省泉州市鯉城区、恵安県、南安市
963	VIII-180	窯洞（洞穴式住居）建設技術	山西省平陸県 甘肅省慶陽市
964	VIII-181	モンゴル・パオ建設技術	内モンゴル自治区 文学芸術界联合会、西ウジムチン旗、陳バルグ旗
965	VIII-182	リー族船型家屋建設技術	海南省東方市
966	VIII-183	カザフ族ユルト建設技術	新疆ウイグル自治区 タルバガタイ地区
967	VIII-184	オロス族民家建設技術	新疆ウイグル自治区
968	VIII-185	サラール族籬笆楼建設技術	青海省循化サラール族自治県
969	VIII-186	チベット族望楼建設技術	四川省丹巴県

注）番号351～439は第一次国家級無形文化財リストとして2005年に、番号873～969は第二次国家級無形文化財リストとして2008年に登録されている。

## 大韓民国

### 【無形文化財の定義】

「演劇・音楽・舞踊・工芸技術など無形の文化的所産として歴史的・芸術的又は学芸的価値の大きいもの」<sup>xlvii</sup>

### 【保護の方針】

「国家は伝統文化の継承・発展の為に重要無形文化財を保護・育成しなければならない」<sup>xlviii</sup>

### 【無形文化財の分類】

分野：芸能種目、技能種目

分野別分類： 芸能種目…音楽、舞踊、演劇、儀式、武藝

技能種目…工芸技術、飲食

### 【重要無形文化財—技能種目一覧】<sup>xlix</sup>

番号	名称	保持者名	指定日
4	カンニル（冠作り）	1張順子（ヤンテ）、2鄭春模（笠子）、3朴昌栄（笠子）、4康順子（馬尾帽子）	1964.12.24
10	螺鈿匠	1李亨萬（チュルムジル）、2宋芳雄（クヌムジル）	1966.6.29

14	韓山モシッジャギ（からむし織り）	方連玉	1967.1.16
22	毎絹匠（組紐匠）	1金喜鎮、2鄭鳳燮	1968.12.21
28	羅州セッコルナイ	魯珍男	1969.7.4
31	烙竹匠	金基燦（サン）	1969.11.29
32	谷城のドルシナイ（トルシルナイ）	1.梁ナムスク、2.楊男淑	1970.7.22
35	彫刻匠	金喆周	1970.7.22
38	朝鮮王朝宮廷飲食	韓熙順 ほか4名	1970.12.30
42	楽器匠	1.李永水（弦楽器）、2.高興坤（弦楽器）、3.金広胄 ほか2名	1971.2.24
47	弓矢匠	1.金博榮（弓匠）2.劉永基（矢匠）、3.金章煥	1971.9.13
48	丹青匠	1.洪點錫、2.洪昌源、3.李致虎 ほか3名	1972.8.1
53	彩箱匠	1.徐漢圭、2.金東連	1975.1.29
60	粧刀匠	1.朴龍基、2.韓炳文	1978.2.23
64	豆錫匠	1.朴文烈、金克千	1980.11.17
65	白銅煙竹匠	黄永保	1980.11.17
66	網巾匠	姜全香	1980.11.17
67	宕巾匠	金功春	1980.11.17
74	大木匠	1.ペ・ヒハン、2.シン・ウンス	1982.6.1
77	鋤器匠	1.李鳳周、2.金壽榮	1983.6.1
78	入絲匠	洪正實	1983.6.1
80	刺繍匠	1.韓尚洙、2.崔維玹	1984.10.15
86	郷土酒醸造		1986.11.1
86-1	ムンベ酒	イ・ギョンチャン	1986.11.1
86-2	沔川杜鵑酒	沔川杜鵑酒保存会	1986.11.1
86-3	慶州校洞法酒	ペ・ヨンシン	1986.11.1
87	明紬織り	李圭宗	1988.4.1
88	箴匠	ク・ジンガプ	1988.8.1
89	針線匠	具恵子	1988.8.1
91	製瓦匠	韓亨俊	1988.8.1
93	箭筒匠	金東鶴	1989.6.15
96	甕器匠	李玉童、金一萬	1990.5.8

99	小盤匠	李仁世	1992.11.10
100	玉匠	張周元	1996.2.1
101	金属活字匠	呉玉鎮	1966.2.1
102	襖貼匠	金杓永	1996.3.11
103	莞草匠	韓明子	1996.5.1
105	沙器匠	李祥宰	1996.7.1
106	刻字匠	呉玉鎮	1996.11.1
107	繡緋匠	金海子	1996.12.10
108	木彫匠	朴賛守	1996.12.31
109	華角匠	李在萬	1996.12.31
110	輪図匠	金鍾大	1996.12.31
112	鑄鉄匠	元光植	2001.3.12
113	漆匠	鄭秀華	2001.3.12
114	簾匠	趙大用	2001.6.27
115	染色匠	尹炳耘	2001.9.6
116	靴鞋匠	黃海逢	2004.2.20
117	韓紙匠	張容熏	2005.9.23
118	仏画匠	林石煥	2006.1.10
119	金箔匠	金德煥	2006.11.16
120	石匠	李在珣	2007.9.17

### 《注》

- i 『美しい生き様、韓国工芸』 金鴻烈 2009.9.21、「韓国文化財制度の概要と指定一覧—重要無形文化財の分類を中心として—」 2008.7.21 室井康成、「重要無形文化財現況」 韓国文化財庁 他
- ii 平成21年現在、登録案件のある種別。
- iii 中華人民共和国無形文化遺産法：2011年2月25日第11回全国人民代表大会で採択、2011年6月1日以降施行。
- iv 日本国文化財保護法第一章第二条二（文化財の定義）
- v 日本国文化財保護法第四章第七十四条（重要無形文化財の保存）
- vi 同上
- vii 日本国 重要無形文化財 工芸技術 2010年現在
- viii 中華人民共和国 国務院の第一次国家級無形文化財リストの公表に関する通知
- ix 中華人民共和国 国務院の文化財保護の強化に関する通知（国発〔2005〕42号）



x	中華人民共和国 国家級非物質文化遺産名録登録項目
xi	中華人民共和国 国家級非物質文化遺産名録和第一批及び第二批
xii	登録名称の詳細：陶器焼成技術（欽州坭興陶焼成技術、チベット族黒陶焼成技術、牙舟陶器焼成技術、建水紫陶焼成技術、榮經砂器焼成技術）
xiii	登録名称の詳細：蚕糸織り技術（余杭清水シルクフロス製作技術、杭羅織り技術、双林綾絹織り技術）
xiv	登録名称の詳細：毛織物製作及び梳毛技術（イ族毛織物製作及び梳毛制技術、チベット族牛羊毛編物技術、ドンシャン族絨毯製作技術）
xv	登録名称の詳細：絨毯織り技術（北京宮毯織り技術、アラシャン絨毯織り技術、新疆ウイグル自治区ロプ県ウイグル族絨毯織り技術）
xvi	登録名称の詳細：チベット族金属鍛造技術（チベット族銅鍛造技術、チベット刀鍛造技術）
xvii	登録名称の詳細：民族楽器製作技術（長子響銅楽器製作技術、朝鮮族民族楽器製作技術、蘇州民族楽器製作技術、漳州蔡福美の伝統鼓製作技術、ウイグル族楽器製作技術）
xviii	登録名称の詳細：漆器髹漆技術（徽州漆器髹漆技術、重慶漆器髹漆技術）
xix	登録名称の詳細：硯台製作技術（易水硯製作技術、澄泥硯製作技術、洮硯製作技術）
xxxx	登録名称の詳細：印肉製作技術（上海魯庵印肉、漳州八宝印肉）
xxi	登録名称の詳細：表装修復技術（古書画の表装修復技術、古書修復技術）
xxii	登録名称の詳細：傘製作技術（油紙傘製作技術、西湖シルク傘）
xxiii	登録名称の詳細：蒸留酒伝統醸造技術（北京二鍋頭酒伝統醸造技術、衡水老白幹伝統醸造技術、山庄老酒伝統醸造技術、板城焼鍋酒伝統五回蒸留醸造技術、梨花春白酒伝統醸造技術、老龍口白酒伝統醸造技術、大泉源酒伝統醸造技術、宝豊酒伝統醸造技術、五糧液酒伝統醸造技術、水井坊酒伝統醸造技術、劍南春酒伝統醸造技術、古蘭郎酒伝統醸造技術、沱牌曲酒伝統醸造技術）
xxiv	登録名称の詳細：醸造酒伝統醸造技術（封缸酒伝統醸造技術、金華酒伝統醸造技術）
xxv	登録名称の詳細：リキュール伝統醸造技術（菊花白酒伝統醸造技術）
xxvi	登録名称の詳細：花茶製作技術（張一元ジャスミン茶製作技術）
xxvii	登録名称の詳細：緑茶製作技術（西湖龍井、婺州拳岩、黄山毛峰、太平猴魁、六安瓜片）
xxviii	登録名称の詳細：紅茶製作技術（祁門紅茶製作技術）
xxix	登録名称の詳細：ウーロン茶製作技術（鉄観音製作技術）
xxx	登録名称の詳細：プーアル茶製作技術（貢茶製作技術、大益茶製作技術）
xxxix	登録名称の詳細：黒茶製作技術（千両茶製作技術、茯磚茶製作技術、南路辺茶製作技術）
xxxii	登録名称の詳細：塩蒸発採取技術（海塩乾燥製塩技術、井塩乾燥製塩技術）
xxxiii	登録名称の詳細：醤油醸造技術（銭万隆醤油醸造技術）
xxxiv	登録名称の詳細：豆板醤伝統製作技術（郫県豆板醤伝統製作技術）
xxxv	登録名称の詳細：豆豉醸造技術（永川豆豉醸造技術、潼川豆豉醸造技術）
xxxvi	登録名称の詳細：腐乳醸造技術（王致和腐乳醸造技術）

- xxxvii 登録名称の詳細：醬菜製作技術（六必居醬菜製作技術）
- xxxviii 登録名称の詳細：ザーサイ伝統製作技術（涪陵ザーサイ伝統製作技術）
- xxxix 登録名称の詳細：伝統小麦粉製食品製作技術（龍須麵及び刀削麵製作技術、抿尖麵及び猫耳麵製作技術）
- xl 登録名称の詳細：茶菓子製作技術（富春茶菓子製作技術）
- xli 登録名称の詳細：月餅伝統製作技術（郭杜林晋式月餅製作技術、安琪広式月餅製作技術）
- xlii 登録名称の詳細：素食製作技術（功德林素食製作技術）
- xlili 登録名称の詳細：ハム製作技術（金華ハム塩漬技術）
- xliv 登録名称の詳細：ローストダック技術（全聚徳の吊るし焼き式ローストダック技術、便宜坊の蒸し焼き式ローストダック技術）
- xlv 登録名称の詳細：牛羊肉調理技術（東来順の羊肉しゃぶしゃぶ製作技術、鴻賓楼の羊肉のフルコース製作技術、月盛齋の牛羊肉の醤油煮製作技術、北京肉ロースト製作技術、冠雲の平遥牛肉伝統加工技術、羊丸ごとロースト技術）
- xlvi 登録名称の詳細：婺州伝統民家建設技術（諸葛村古村落建設技術、畚源村古代建築群建設技術、東陽盧宅建設技術、浦江鄭義門建設技術）
- xlvii 大韓民国 文化財保護法第一章第二条（定義）（一）二
- xlviii 大韓民国 文化財保護法第二章第二十四条（重要無形文化財の保護・育成）（一）
- xl ix 大韓民国 重要無形文化財 2010年現在

**[Summary]**

Designation of Traditional Craftsmanship under the National Laws for  
the Safeguarding Intangible Cultural Heritage in East Asian countries  
– From the National Lists of Japan, China and Republic of Korea –

MATSUYAMA Naoko

During the fiscal year of 2009 and 2010, the department of Intangible Cultural Heritage, National Research Institute Cultural Properties, Tokyo has conducted research on safeguarding intangible cultural heritage (ICH) in the Asia-Pacific region. In the volume 4 (published in March 2010) and 5 (published in March 2011) of this report, I have categorized traditional craftsmanship in Asia-Pacific region, which has been inscribed on the ICH list of 2003 Convention and clarified the meaning of “Traditional Craftsmanship” that is understood in the Convention.

Amongst various countries in the Asia, these three countries of East Asia countries, Japan, China and Republic of Korea share many similarity in terms of culture. The thoughts such as Confucianism and Buddhism have spread throughout the East Asian countries and we share the use of Chinese characters and many culinary elements.

This report introduces the items of traditional craftsmanship based on the national lists of ICH in Japan, China and Republic of Korea, as well as the definition of ICH under their relevant national laws, policy of safeguarding ICH and the categories of traditional craftsmanship in each of the three countries.

Research and Reports on Intangible Cultural Heritage  
Number 6  
2012

Publisher:

National Research Institute for Cultural Properties, Tokyo  
13-43 Ueno Park, Taito-ku, Tokyo, 110-8713, Japan

無形文化遺産研究報告 第6号

平成24年3月26日印刷

平成24年3月29日発行

編集 独立行政法人国立文化財機構  
東京文化財研究所  
『無形文化遺産研究報告』編集委員会

編集委員	無形文化遺産部長	宮田 繁幸
	無形文化財研究室長	高桑 いづみ
	音声・映像記録研究室長	飯島 満

発行 独立行政法人国立文化財機構  
東京文化財研究所  
〒110-8713 東京都台東区上野公園 13-43  
電話 03 (3823) 2241

© 独立行政法人国立文化財機構  
東京文化財研究所 2012

National Research Institute for  
Cultural Properties, Tokyo